

令和3年の中国地方の梅雨入り・明けと梅雨の時期の特徴について

◎中国地方の梅雨の時期(6～7月)の特徴

梅雨入りは5月12日ごろで平年よりかなり早く、1951年の統計開始以降早い方からの2位となりました(最も早い梅雨入りは5月8日:1963年)。梅雨明けは7月13日ごろで平年より早くなりました。

梅雨の時期の降水量は、中国地方平均で平年より多くなりました(山陽では平年並、山陰では平年並～平年より多くなりました)。

5月上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、中旬から下旬にかけては、梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

6月上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、中旬から下旬にかけては低気圧や梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

7月上旬から中旬はじめにかけては、梅雨前線が西日本に位置して曇りや雨の日が多くなり、梅雨前線の活動が活発となった影響で、日降水量や日最大1時間降水量が観測開始からの1位を更新するなど、記録的な大雨となった日がありました。中旬の中ごろからは高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。

令和3年の梅雨の時期(6～7月)の 降水量と平年比

地点名	観測値 (mm)	平年値 (mm)	平年比(%) (階級)
広島	565.0	506.3	112(O)
呉	380.0	469.3	81(O)
福山	343.0	372.5	92(O)
岡山	290.0	346.7	84(O)
津山	390.5	423.4	92(O)
松江	638.0	407.1	157(+)
西郷	233.5	369.6	63(O)
浜田	352.5	425.0	83(O)
鳥取	505.5	334.6	151(+)
米子	561.0	396.7	141(+)
境	748.5	386.0	194(+)
中国地方			114(+)

【梅雨入り】

5月12日ごろ(当初発表は5月15日ごろ)
「かなり早い」

- ・平年(6月6日ごろ)より25日早い
- ・昨年(6月10日ごろ)より29日早い

【梅雨明け】

7月13日ごろ(当初発表も7月13日ごろ)
「早い」

- ・平年(7月19日ごろ)より6日早い
- ・昨年(7月31日ごろ)より18日早い

階級は(=):かなり少ない、(-):少ない、(O):平年並
(+):多い、(++):かなり多い、を示しています。

気象庁が梅雨時期に行う梅雨の入り・明けの発表は、当日までの天候経過と向こう1週間の天気予測に基づくものです。気象庁では、毎年、梅雨時期の終了後に、実際の天候経過に基づいて事後検討を行い、各地の梅雨期間(入り・明け)の確定、及び梅雨時期の特徴についてまとめを行っています。

別紙1は中国地方における降水量の分布図、別紙2は広島県内各地の降水量と平年比(表)です。

別紙3と別紙4は参考資料で、今年の梅雨入りから梅雨明けの前日までの期間の降水量分布図と降水量表です。

(注1) 今年の日付は事後検討により確定したものです。梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「* *日ごろ」と表現しています。

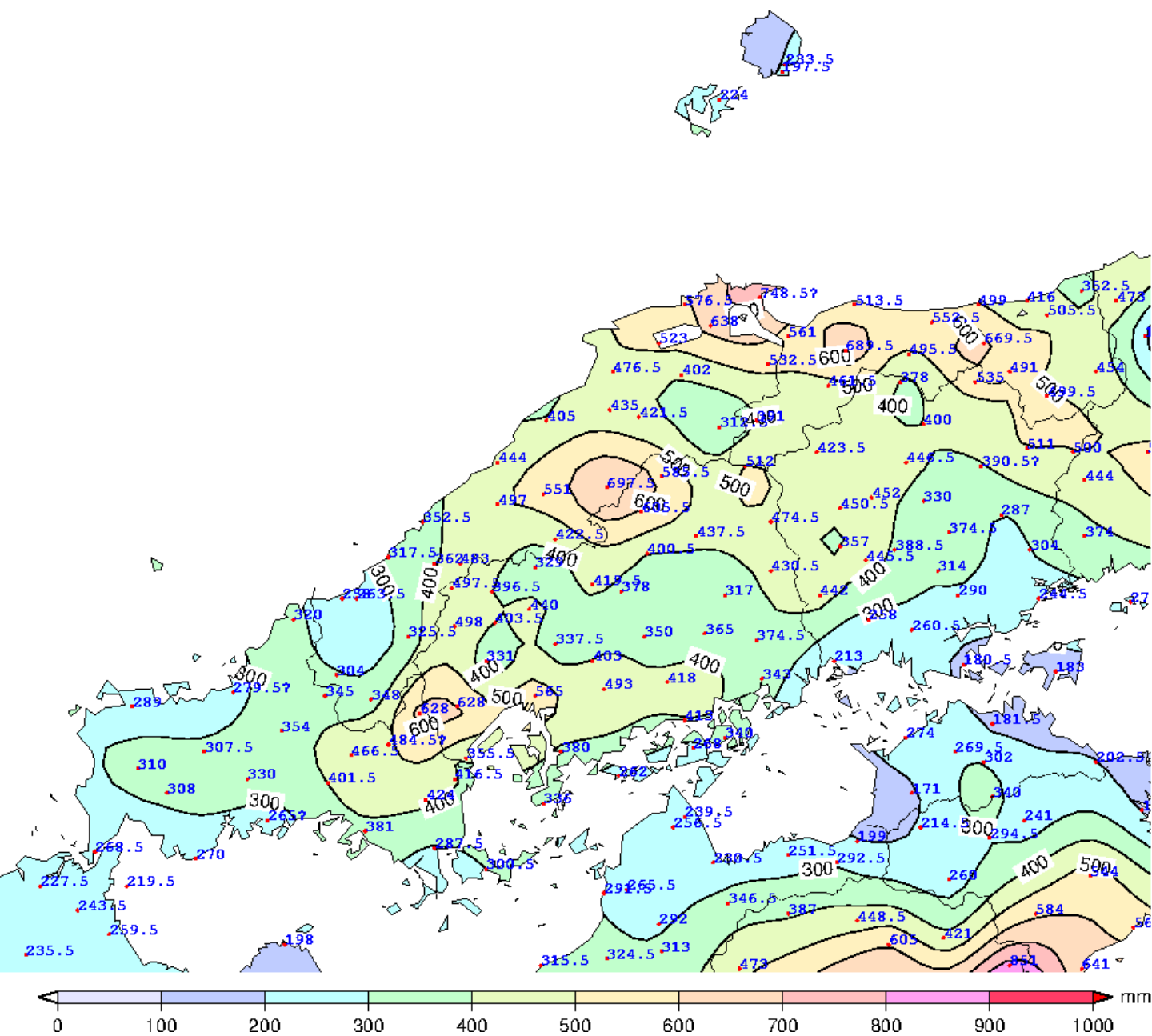
(注2) 梅雨の期間は年によって入り、明けの日が異なり、長い期間もあれば短い期間もあります。このため梅雨の降水量を比較する場合には梅雨の時期とした6～7月(沖縄、奄美は5～6月)の降水量を用いています。

(注3) 中国地方の梅雨入り、梅雨明けの対象は山口県を除く中国地方(広島県・岡山県・島根県・鳥取県)としています。

問合せ先: 広島地方気象台 担当 日野、部田
電話082-223-3951 (平日08時30分～17時00分)

令和3年の梅雨の時期(6～7月)の中国地方の降水量分布図

AMeDAS Precipitation [mm] : 2021/6/1 1h - 2021/7/31 24h



令和3年の梅雨の時期(6～7月)の広島県内各地の降水量と平年比

気象官署及び特別地域気象観測所

地点名	実況値 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)
広島	565.0	506.3	112
呉	380.0	469.3	81
福山	343.0	372.5	92

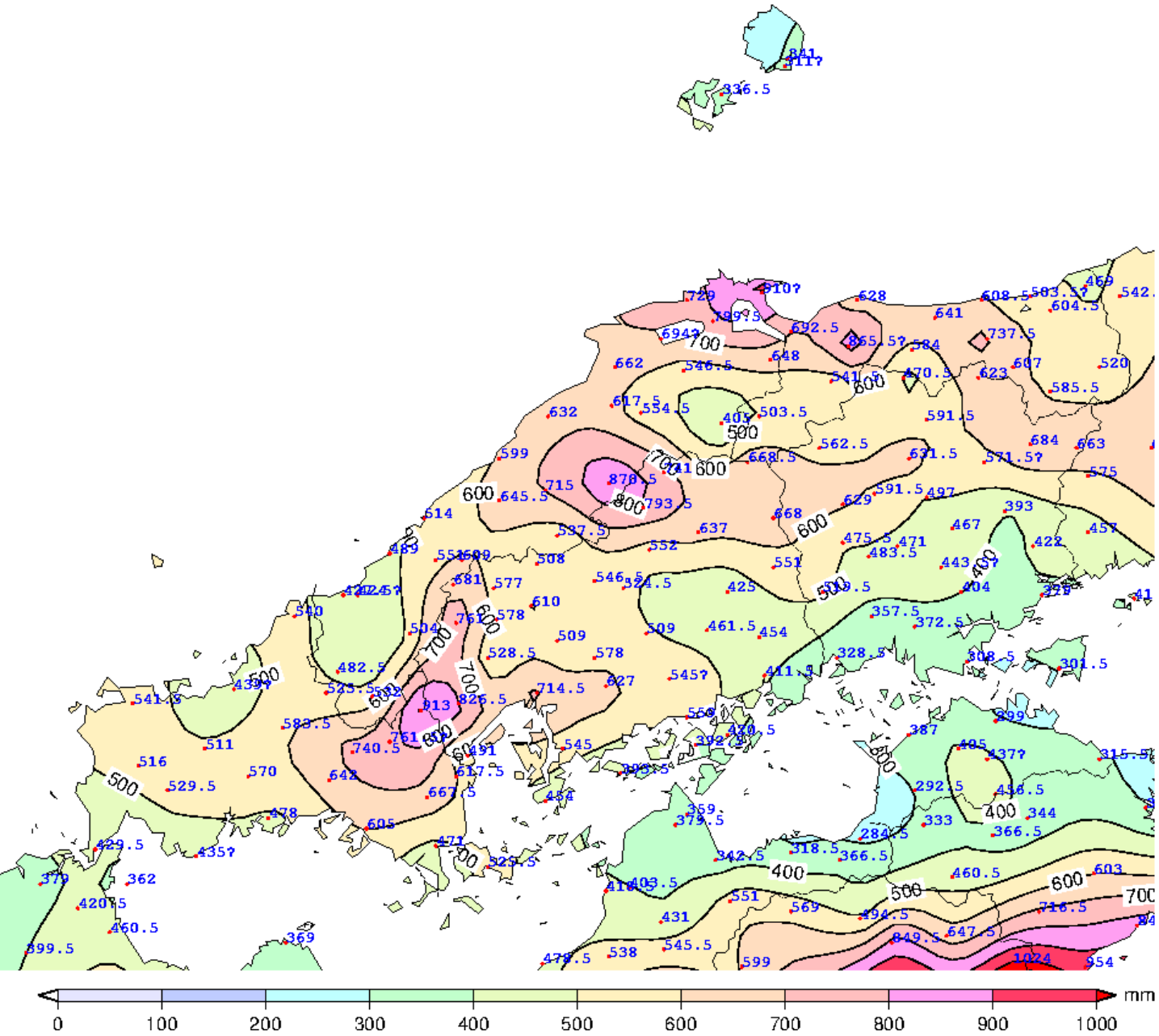
地域気象観測所

地点名	実況値 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)	地点名	実況値 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)
高野	585.5	505.8	116.0	内黒山	498.0	603.4	83.0
道後山	512.0	550.1	93.0	三入	337.5	518.7	65.0
君田	605.5	553.5	109.0	安宿	350.0	493.3	71.0
三次	400.5	431.6	93.0	世羅	365.0	408.1	89.0
庄原	437.5	437.4	100.0	府中	374.5	395.5	95.0
東城	474.5	447.9	106.0	佐伯湯来	331.0	557.5	59.0
八幡	497.5	606.2	82.0	志和	403.0	492.0	82.0
大朝	329.0	490.9	67.0	東広島	493.0	460.4	107.0
美土里	419.5	513.5	82.0	本郷	418.0	430.5	97.0
油木	430.5	403.3	107.0	廿日市津田	628.0	613.0	102.0
王泊	396.5	521.2	76.0	竹原	413.0	406.9	101.0
加計	403.5	523.6	77.0	生口島	340.0	349.9	97.0
都志見	440.0	568.2	77.0	大竹	355.5	546.3	65.0
甲田	378.0	452.8	83.0	倉橋	336.0	460.6	73.0
上下	317.0	413.5	77.0	呉市蒲刈	262.0	495.8	53.0

(注) 地域気象観測所の平年値は6月と7月の平年値を合計して求めたもので、この値により平年比を算出しています。

令和3年の梅雨入り(5/12)から梅雨明けの前日(7/12)までの
中国地方の降水量分布図

AMeDAS Precipitation [mm] : 2021/5/12 1h - 2021/7/12 24h



(注)降水量の単位はmm

令和3年の梅雨入り(5/12)から梅雨明けの前日(7/12)までの
広島県内各地の降水量

気象官署及び特別地域気象観測所

地点名	実況値 (mm)	平年値 (mm)
広島	714.5	497.2
呉	545.0	460.7
福山	411.5	372.9

地域気象観測所

地点名	実況値 (mm)	平年値 (mm)	地点名	実況値 (mm)	平年値 (mm)
高野	741.0	470.0	内黒山	761.0	566.3
道後山	679.0	501.0	三入	510.0	499.6
君田	793.5	513.4	安宿	509.0	481.0
三次	552.0	409.1	世羅	480.0	395.7
庄原	637.0	417.2	府中	473.0	393.5
東城	684.0	431.0	佐伯湯来	531.0	514.9
八幡	681.0	546.3	志和	578.0	471.8
大朝	508.5	466.8	東広島	627.0	446.1
美土里	555.0	474.8	本郷	552.0	433.7
油木	553.5	392.7	廿日市津田	841.5	585.6
王泊	577.0	484.1	竹原	559.0	401.2
加計	578.5	479.9	生口島	420.5	355.4
都志見	636.0	518.2	大竹	492.0	537.4
甲田	524.5	429.4	倉橋	454.5	463.2
上下	426.0	395.7	呉市蒲刈	393.5	486.2